



位置図

特記事項
(工事概要)

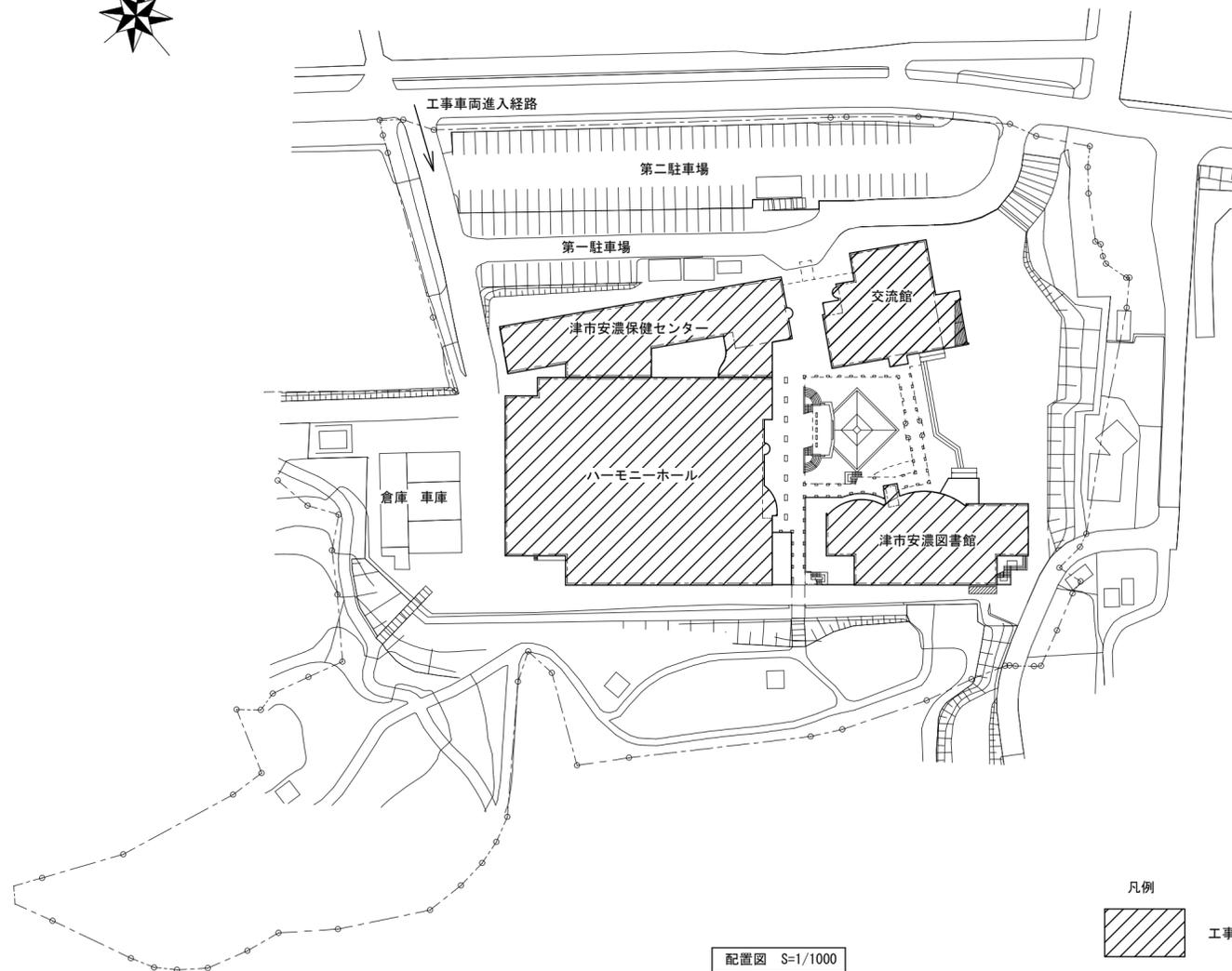
- ・既設の空調熱源機器等を撤去の上、新設を行う。
※更新箇所は図示による

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。
- ・本工事は、平日作業可とするが、施設運営に支障のない範囲（騒音・振動の無い作業に限る）とする。
- ・騒音を伴う作業を行う工程は施設管理者と協議のうえ決定すること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・工用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び 工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

(解体撤去処分)

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・「石綿障害予防規則」に基づく石綿作業主任者を選任し管理すること。
- ・今回機器に封入される吸収液は特別管理産業廃棄物のため、廃棄物処理法に基づき適切に処理・処分すること。



配置図 S=1/1000

凡例

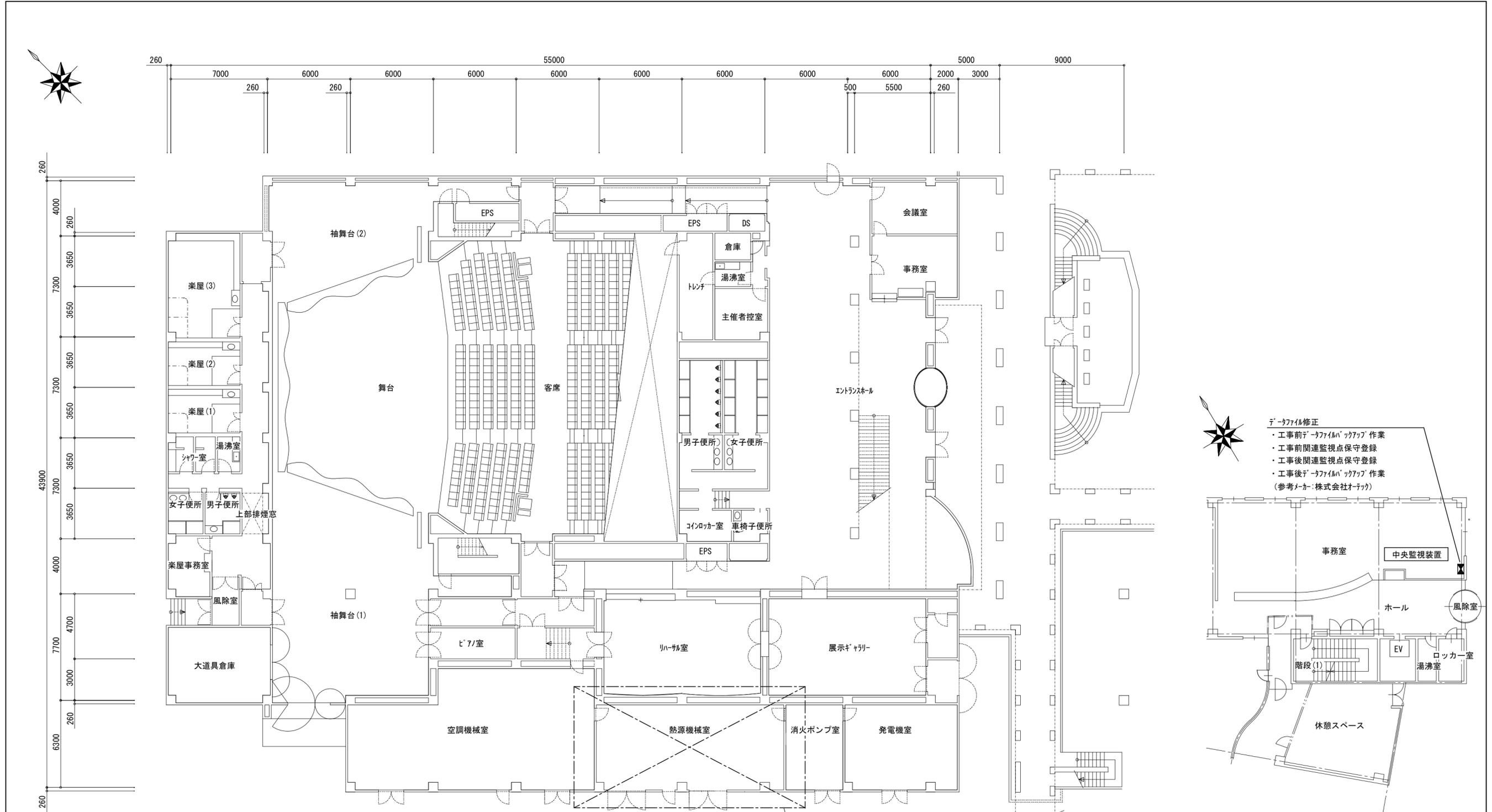


工事対象範囲を示す

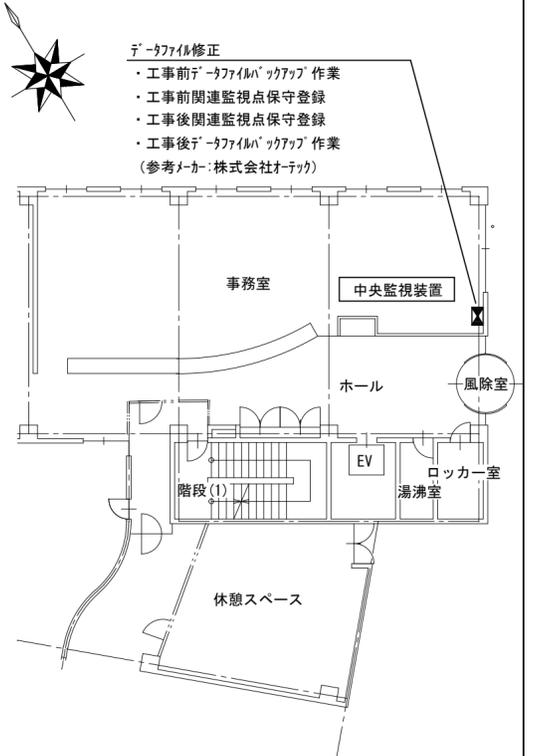
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」
- 独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市サンヒルズ安濃空調設備改修工事		縮尺 1/1000
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 1/5



ハーモニーホール 1階平面図 S=1/200



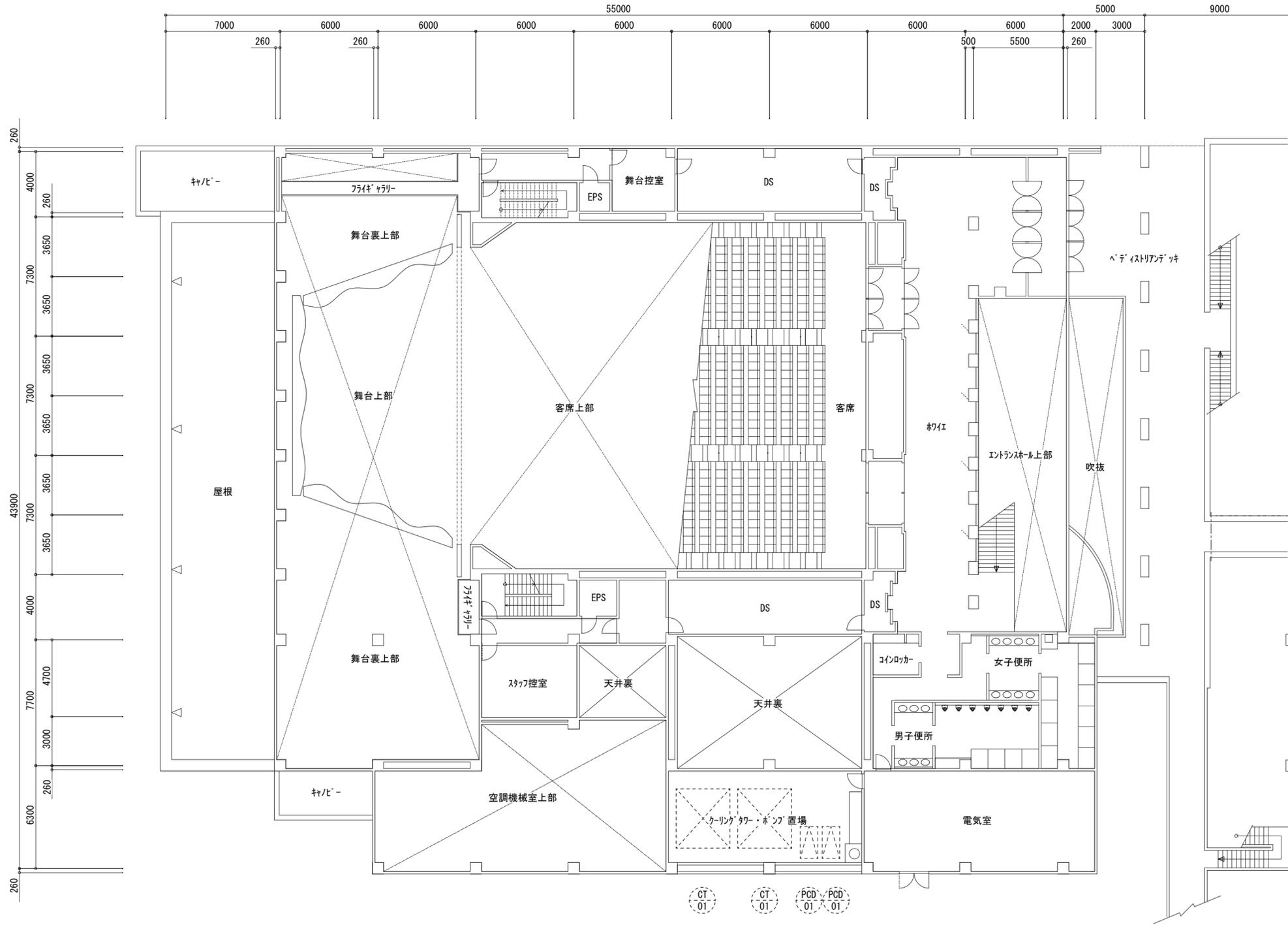
津市安濃保健センター 1階平面図 S=1/200

既設機器表

記号	機器名称	仕様	品番	電源	数
PCH-01	冷温水一次ポンプ	形式 片吸込渦巻型 125φ × 100φ × 1,517 L/min × 20 m × 11 kW	GEK-125 × 100 6M-4M11	3φ 200V	2
PCH-02	冷温水二次ポンプ	形式 片吸込渦巻型 80φ × 65φ × 759 L/min × 35 m × 11 kW	GEL- 80 × 65 6M-4M11	3φ 200V	4

- データー修正
- ・工事前データーバックアップ作業
 - ・工事前関連監視点保守登録
 - ・工事後関連監視点保守登録
 - ・工事後データーバックアップ作業
- (参考メーカー: 株式会社オーテック)

津市サンヒルズ安濃空調設備改修工事		縮尺	1/200
図面名称	ハーモニーホール、津市安濃保健センター 1階平面図	原図	A 2
津市建設部営繕課		No.	2/5

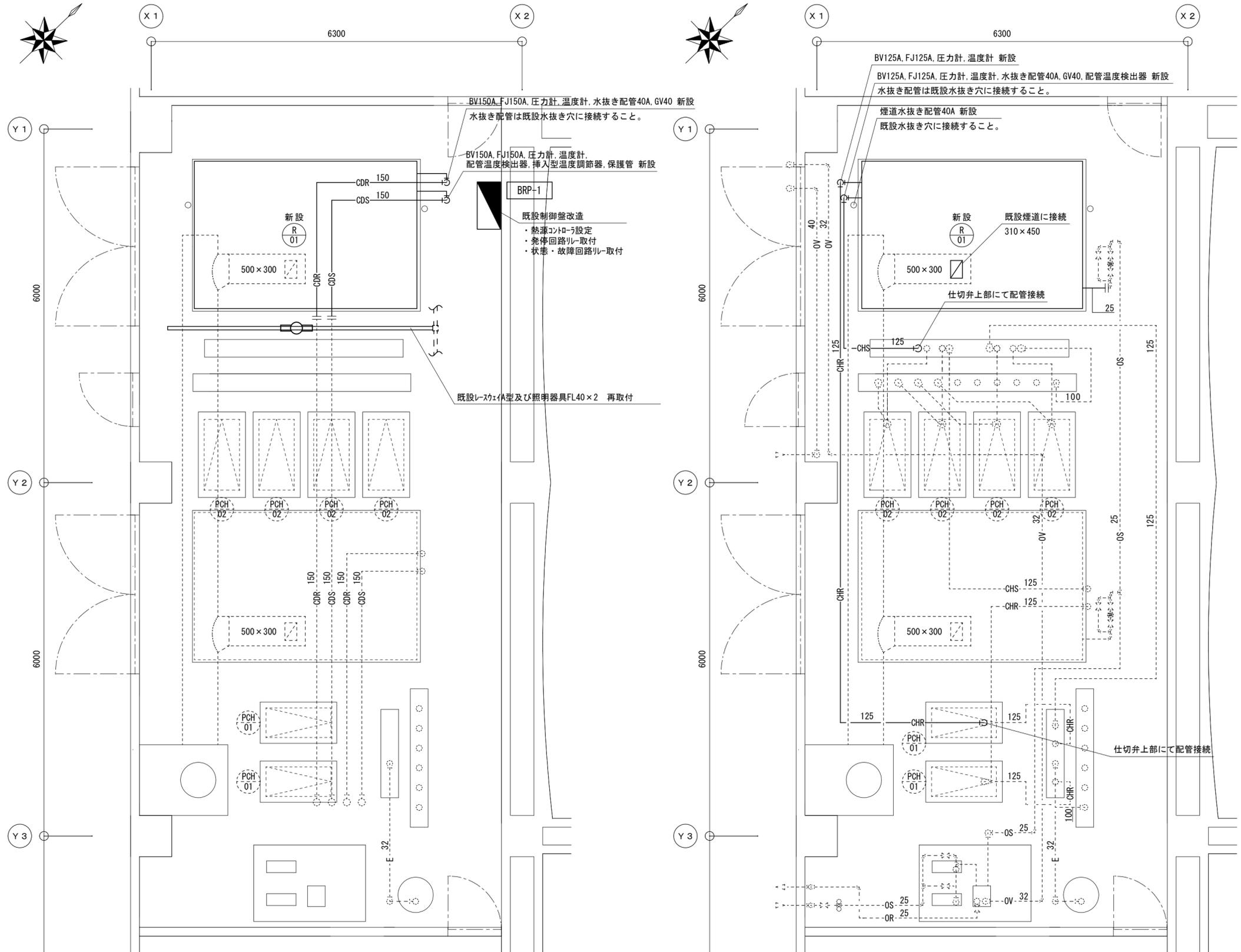


ハーモニホール 2階平面図 S=1/200

既設機器表

記号	機器名称	仕様	品番	電源	数
CT-01	冷却塔	形式 角型低騒音カストロ-型 冷却能力: 150 USRT 冷却水出口温度 37.5℃	RTC-1507PNW	3φ 200V	2
PCD-01	冷却水ポンプ	形式 片吸込渦巻型 125φ × 100φ × 2.500 L/min × 25 m × 15 kW	GEL-150 × 100 6M-4MW15	3φ 200V	2

津市サンヒルズ安濃空調設備改修工事		縮尺	1/200
図面名称	ハーモニホール 2階平面図	原因	A 2
津市建設部営繕課		No.	3/5



凡例

記号	名称
—	新設配管
---	現状維持配管
--- ---	現状配管・新設配管接続部分
—CDS—	冷却水(往) 圧力配管用炭素鋼管(白)
—CDR—	冷却水(還) 圧力配管用炭素鋼管(白)
—CHS—	冷水水(往) 圧力配管用炭素鋼管(白)
—CHR—	冷水水(還) 圧力配管用炭素鋼管(白)
—OS—	油配管(往) 圧力配管用炭素鋼管(黒)
—OR—	油配管(還) 圧力配管用炭素鋼管(黒)
—OV—	油配管(通気) 圧力配管用炭素鋼管(黒)
—	水抜き配管 圧力配管用炭素鋼管(白)
—	煙道ダクト SS400 t=3.2mm

※保温仕様は以下とする。
 冷水水配管 機械室内：ガラスウール保温筒+鉛板仕上げ
 煙道ダクト 機械室内：ロックウール保温筒+ステンレス鋼板仕上げ
 ※冷却水配管及び水抜き配管、油配管は塗装を行うこと。

新設機器

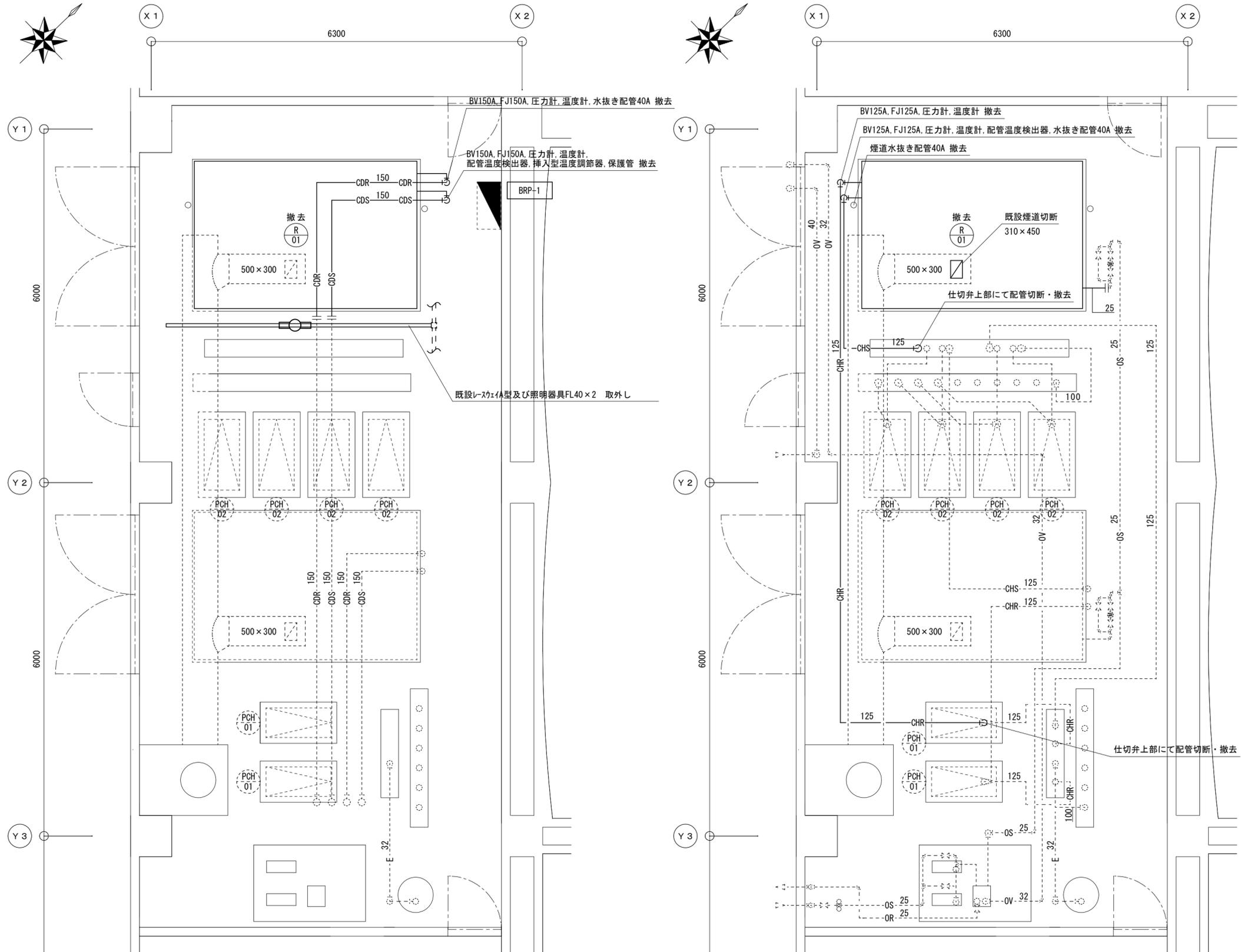
記号	機器名称	仕様	電源	数
R-01	吸収冷水水機	形式 二重効用灯油炊き (150USRT) 水平震度=1.0G 冷却能力 527kW 加熱能力 500kW 冷水水流量 1513 L/min 冷水水温度 冷水出口温度 7.0℃ 温水出口温度 60.0℃ 冷却水入口温度 32.0℃ 燃料 灯油 付属品 動力制御盤、感震器、防振パッド、冷凍防止スイッチ、他付属品一式	3φ200V	1

特記
 1. 機器の製作仕様は公共建築仕様とし、グリーン購入基準 (APFp=1.45以上) 適合品とする。
 2. 電源の周波数は60Hzとする。
 3. 機器の据付はSUS製アンカーボルトとし、ダブルナットにて締め付けること。
 4. 既設基礎流用し、機械室内に設置すること。
 5. 設置後に室内外機器の調整を行い、動作確認を行うこと。
 6. 自動制御線及び制御盤用配線は既設配線を再利用の上、接続すること。

1階平面詳細図(冷却水配管) S=1/50

1階平面詳細図(冷水水配管) S=1/50

津市サンヒルズ安濃空調設備改修工事		縮尺	1/50
図面名称	1階平面詳細図(改修後)	原因	A.2
津市建設部営繕課		No.	4/5



1階平面詳細図(冷却水配管) S=1/50

1階平面詳細図(冷水配管) S=1/50

凡例

記号	名称
—	新設配管
---	現状維持配管
---II---	現状配管・新設配管接続部分
—CDS—	冷却水(往) 圧力配管用炭素鋼管(白)
—CDR—	冷却水(還) 圧力配管用炭素鋼管(白)
—CHS—	冷温水(往) 圧力配管用炭素鋼管(白)
—CHR—	冷温水(還) 圧力配管用炭素鋼管(白)
—OS—	油配管(往) 圧力配管用炭素鋼管(黒)
—OR—	油配管(還) 圧力配管用炭素鋼管(黒)
—OV—	油配管(通気) 圧力配管用炭素鋼管(黒)
—	水抜き配管 圧力配管用炭素鋼管(白)
—	煙道ダクト SS400 t=3.2mm

※保温仕様は以下とする。
 冷温水配管 機械室内：ガラスウール保温筒+カーボ鉛鉄板仕上げ
 煙道ダクト 機械室内：ロックウール保温筒+ステンレス鋼板仕上げ

撤去機器

記号	機器名称	仕様	品番	電源	台数
R-01	吸収冷温水機	形式 二重効用灯油炊き(ユニット形) 冷却能力 150 USRT 加熱能力 438,000 kcal/h 付属品 動力制御盤、センサー、冷凍防止スイッチ、他付属品一式	RAD-K015 (荏原冷熱システム株式会社)	3φ200V	1

特記 1. 既設機器の溶液(吸収液)を回収し、適正に処分を行うこと。
 2. 煙道継ぎ目部ハットに石棉が含まれているため、適正に処理及び処分を行うこと。
 クロフハック工法による石棉除去工事を行うこと。

津市サンヒルズ安濃空調設備改修工事		縮尺	1/50
図面名称	1階平面詳細図(改修前)	原因	A.2
津市建設部営繕課		No.	5/5